

## 「文化力の拠点」形成の計画概要

### 1 取組の経過

県では、東静岡から名勝日本平、さらには三保松原に広がる地域に集積する学術、文化・芸術、スポーツ等の魅力を更に磨き高め、「場の力」を最大限に活かした地域づくりを進めるため、玄関口となる東静岡駅南口県有地（以下「事業対象地」という。）に、県の高い文化力の発信や、学び、にぎわいの場を生む「文化力の拠点」の形成に取り組んでいます。

「文化力の拠点」には県立中央図書館を全館移転し、新県立中央図書館を中心とする公的機能と併せ、民間活力の活用により、賑わいと魅力ある拠点の形成を目指すこととしています。



図 1 事業対象地及び現在の県立中央図書館の概要

## 2 施設の概要

現時点で、導入を想定する機能は、以下のとおりです。

なお、以下の導入機能は、今回のアイデア調査の実施に当たり仮に設定したものであり、今後の方向性として決定したものではありません。

表 1 導入機能（想定）

導入機能	施設の区分	内容
新県立中央図書館	公共	・ <u>多くの県民に親しまれ</u> 、これまで以上に <u>多様な機関と連携し、多彩な交流を育む新しい図書館</u> （詳細は次頁参照）
多目的情報発信スペース		・ 人々が集い、学び、交わり、幅広く情報を発信するスペース ・ 常設展示、企画展示、イベントスペースなど
大学コンソーシアムの拠点（グローバル人材育成拠点）		・ 留学生も含め、県内の大学生が集い、学び、地域とも交流できる場 ・ 交流スペース、会議室、講義室など
駐車場	公共 / 民間	・ グランシップ利用者及び「文化力の拠点」利用者が使用できる景観に配慮した駐車場
食の都・茶の都・花の都	民間	・ 本県の食・茶・花の魅力を発信するためのフードコート、フラワーカフェ、物品販売店舗
拠点の価値向上に資する民間提案機能	民間	・ 多様な交流やにぎわいの創出など、公的施設との相乗効果の発揮が見込まれる、新しい活用アイデアや事業計画 （例） ・ ミュージアム 本県が誇る歴史や文化を活用した体験型施設、展示など ・ 専門学校 次代を担う様々な人材育成（クリエイター） ・ オフィス（産学官交流の促進） ・ 地域住民の生活利便性の向上に資する機能 子育て支援施設、レストラン、スーパーマーケットなど
<p>これまでの検討において、以下の機能も検討しています。            宿泊機能（民間）／迎賓機能／共同研究拠点／外資系企業向けレンタルオフィス／ビジネスインターン向け宿泊施設</p>		

（補足）太枠内は、優先的に導入を想定している機能

### 3 新県立中央図書館の内容（案）

図書館機能については、「文化力の拠点」の中心的な機能として、「創造・発信」、「学ぶ・人づくり」、「出会い・交わる」の3つのコンセプト全てを実現しつつ、県立中央図書館としては新しいタイプの図書館を検討しています。

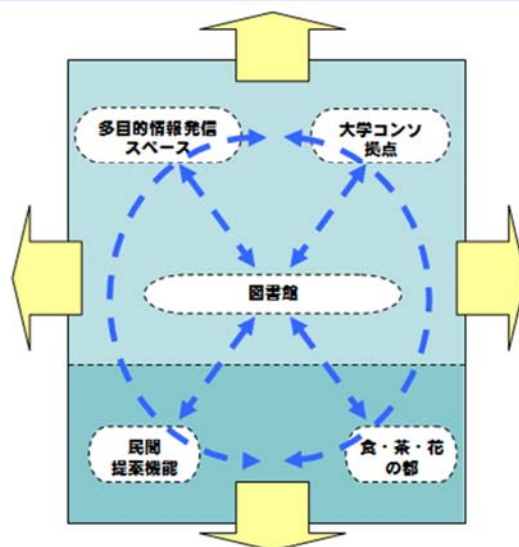
表 2 新県立中央図書館のイメージ

項目	内容			
目指すべき姿	① 県民の生涯学習・読書活動の拠点としての図書館 ② “ふじのくに”のことなら何でもわかる図書館 ③ 県内市町立図書館等を強力に支援する図書館 ④ <b>県民が出会い交わり、新しい文化を育む図書館</b>			
規模 イメージ	＜最新県立図書館の事例＞			
	区分	石川県 (H30 設計中)	沖縄県 (H30 建設中)	《参考》 現図書館
	延床面積	約 19,000 m <sup>2</sup>	約 15,000 m <sup>2</sup>	約 8,817 m <sup>2</sup>
	収容能力	約 200 万冊	約 216 万冊	約 84.5 万冊
施設整備の 考え方	○多彩な交流機能としての新たな人や活動に出会う場 ・様々なタイプの閲覧席やラーニング・コモンズ、カフェなど ・大学や企業、市民団体等と協働・連携した講座・イベントの開催 ・東静岡駅やグランシップの利用者を呼び込む工夫			

(参考) 来館者数が多い県立図書館 岡山県：110 万人/年、山梨県 93 万人/年

### 4 「文化力の拠点」のイメージ

「文化力の拠点」は、各機能が連携し、相乗効果を発揮することで、「文化力の拠点」のコンセプトの実現を目指しています（下図参照）。



《全体として発信》

(個別機能+各機能間の相乗効果)

図 2 「文化力の拠点」のイメージ